

日本言語政策学会特別大会へのメッセージ

このたび、「国家戦略としての言語政策を考える」をテーマとし、日本言語政策学会特別大会が名古屋外国語大学との共催により、盛大に開催されますことをお慶び申し上げます。

日本言語政策学会は、日本における言語問題を政策の観点から研究するため、平成14年に発足し、以来、日本語教育および言語政策の充実に御尽力いただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

また、貴学会の顧問でもあり名古屋外語大学長の水谷修先生におかれましては、文化庁国語審議会委員並びに国立国語研究所の所長を歴任されるなど、長年にわたり国語施策、日本語教育の推進に御尽力を賜りました。

水谷先生のこれまでの言語政策に対する多大なる御功績に対し、この場をお借りしまして、改めて感謝と敬意を表します。

我が国の近未来を展望すると、外国人労働者の増加に伴う諸課題への対応等、多文化が共生する社会の実現をどのように図るかが大きな課題になってくると思われませんが、この際には日本語教育をどのように展開し、強化するかの検討が不可欠です。このような現況において、日本語教育の課題や今後の言語政策のあり方等について論究する、このような大会が開催されますことは大変意義深いことであり、今後の国の言語政策の充実に資するような活発な議論がなされますことを期待いたします。

終わりに、本大会の御成功と、日本言語政策学会の一層の御発展並びに田中会長をはじめ、本日御参会の皆様のみましますのご活躍を心から祈念いたしまして、私のお祝いの言葉といたします。

平成21年11月21日

文部科学副大臣 中川正春